

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月16日実施)	総合評価 (3月8日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領を学部で共有し、成果をまとめる。 ②研修会の見直しを行う。	①昨年度の成果を学部ごとに共有し、成果をまとめる。 ②研修についてアンケートを実施し、研修の在り方を見直す。	①昨年度の成果を学部ごとに共有し、成果をまとめることができたか。 ②研修についてアンケートを実施し、研修の在り方を見直すことができたか。	①研究冊子をつくり、まとめることができた。 ②見直すことはできた。	①共有できた達成感が低い。(教職員 No1: 肯定的 70%、否定的 12%) ②見直したが満足度が低い。(教職員 No2: 肯定的 74%、否定的 14%)	①楽しく学校に通えているか」の設問に「肯定的 92%」である。 ②十分な見直しには、至らなかった。	①研究冊子を作ったが十分な共有に至らなかった。 ②アンケートは行ったが十分な見直しには、至らなかった。	①共有する時間を確保する。 ②共有する時間を確保する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。	①相談支援業務内容について職員の理解を図る。 ②ICT 機器を活用した授業実践を積み上げる。	①職員会議等の機会を捉え、相談支援業務内容を説明する。(5月、8月、12月) ②国立特別支援教育総合研究所の協力を得ながら行う。	①職員会議等の機会を捉え、相談支援業務内容を説明することができたか。 ②国立特別支援教育総合研究所の協力を得ながら行うことができたか。	①計画通り実施した。 ②計画通り実施した。	①理解が進んでいない。(教職員 No3: 肯定的 88%、否定的 11%) ②授業実績の積み上げになっていない。(教職員 No4: 肯定的 78%、否定的 18%)	①「学校に相談する方法を知っていますか」の設問に「知っている 73%」である。 ②学部間の情報共有が不十分である。	①計画通り実施したが、十分ではない。 ②計画通り実施したが、十分ではない。	①共有する時間の確保と周知方法を見直す。 ②共有する時間を確保する。
3	進路指導・支援	・一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。	①意思決定支援の在り方について理解を深める。 ②保護者がわかる支援通信を発行する。	①意思決定支援に関する研修会を行う。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行する。	①意思決定支援に関する研修会を実施することができたか。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行することができたか。	① 計画通り実施した。 ②発行することができた。	①授業に十分生かされていない。(教職員 No5: 肯定的 76%、否定的 11%) ②引続き取組む必要がある。(教員 No8: 肯定的 96%、否定的 3%)	①「意思決定を尊重した授業が行われているか」の設問に「肯定的 97%」である。保護者が、意思決定支援をどれだけ理解しているか、知る必要がある。 ②「支援通信はわかりやすい用語でかかれていますか」の設問に「肯定的 96%」である。	①計画通り実施したが、保護者の理解度を知らなければならない。 ②発行することができた。引続き意識しながら取組んでいく。	①用語の意味を伝え理解を図る。 ②継続していく。
4	地域等との協働	・共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。	①鎌倉養護学校の様子を地域にお伝えする。 ②授業つながり資源をもとに、地域目線を取入れた資源マップ作りに取り組む。	①「鎌倉養護学校だより」を毎月発行する。 ②学校運営協議会委員の助言を受けながら作成する。	①「鎌倉養護学校だより」を毎月発行することができたか。 ②学校運営協議会委員の助言を受けながら作成することができたか。	① 発行することができた。 ②助言をいただけるよう準備できなかった。	①引続き取組む必要がある。 ②テーマ別にするなど工夫して作成する。	①引続き取組む必要がある。 ②引続き取組む必要がある。	①発行することができた。引続き取組んでいく。 ②取組が不十分だったため、引き続き取組んでいく。	①継続していく。 ②テーマ別にするなど工夫して作成する。
5	学校管理 学校運営	・不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ・児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。 ・教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を開き、事故を未然に防ぐ。 ②昨年度の反省を生かし、避難訓練を実施する。 ③長時間勤務を是正す	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を学部会で行なう。 ②避難場所をグランドに変更して実施する。また、防火扉前にコーンを設置し、実施する。 ③データ管理のルール	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を開き、事故を未然に防ぐことができたか。 ②訓練の反省をもとに改善し次に活かすことができたか。また、必要な物品を揃えることができたか。 ③データ管理のルールを決	①ケース会を開き、未然防止に努めた。 ②コーンを設置した避難訓練を実施した。必要な物品は、購入していない。 ③実施することはでき	①引続き取組む必要がある。(教職員 No10: 肯定的 86%、否定的 10%) ②引続き取組む必要がある。 ③引続き取組む必要	①未然防止につながる会議になるよう引き続き取組む必要がある。 ②「学校は、綺麗に整理整頓されているか」の設問に「肯定的 93%」である。 ③引続き取組む必要が	①ケース会を実施できたが、引き続き取組んでいく ②実施したが、引き続き取組んでいく ③実施したが、	①継続していく。 ②継続していく。 ③引続き取組ん

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月16日実施)	総合評価(3月8日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		る。	を決め、実施する。	め、実施することができたか。	た。	がある。(教職員No11:肯定的73%、否定的19%)	ある。	引続き取組んでいく。	でいくが、仕事を見える化する。